

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会
気象レーダー作業班
第10回 X帯サブ・ワーキング・グループ
議事概要(案)

1 日時

令和元年8月2日(金) 13:00～

2 場所

総務省 10 階 共用会議室2

3 出席者(敬称略)

リーダー :牛尾 知雄

構成員 :飯田 秀重、猪上 華子、岡田 良教、柿元 生也、川辺 俊和、
小林 顕造、石河 大(代理)、花土 弘、羽田 利博、廣瀬 孝睦、
和田 将一

オブザーバー :田北 順二、伊藤 達郎(代理)、米本 成人、濱中 太郎

事務局(総務省) :棚田 課長補佐、福川 第一マイクロ通信 係長

4 配布資料

- 気レX 10-1 第9回 X帯サブ・ワーキング・グループ議事概要(案)
気レX 10-2 X帯汎用型気象レーダーに求められる諸元について
気レX 10-3 X帯汎用型気象レーダーの占有周波数帯幅(OBW)及び搬送波の変調
波スペクトルの許容範囲の測定法について
気レX 10-4 沿岸監視レーダーとの干渉検討
気レX 10-5 汎用型気象レーダーの設置計画と干渉シミュレーションについて
気レX 10-6 X帯汎用型気象レーダー電波防護基準について
気レX 10-7 陸上無線通信委員会気象レーダー作業班報告(案)
気レX 10-8 9.7GHz帯汎用型検討スケジュール(案)
気レX参10-1 X帯サブ・ワーキング・グループ構成員名簿

5 議事概要

(1) 開会

(2) 議事

① X 帯汎用型気象レーダーに求められる諸元

ウェザーニュースより資料「気レX 10-2」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、垂直偏波は特段規定していないこと、伝搬位相差変化率は、偏波間位相差変化率に改めること等の確認がされた。

② X 帯汎用型気象レーダーの測定方法

ウェザーニュースより資料「気レX 10-3」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、運用が停止できず、通常運用しながら測るということならば、

VONがあった方が良いのではないかとの意見があり、VONの取り扱いについては今後確認していく事となった。

③ 沿岸監視レーダーとの共用検討

ウェザーニュースより資料「気レX 10-4」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、気象レーダーから沿岸監視レーダーへの干渉はほぼ無く、沿岸監視レーダーから気象レーダーへの干渉のみ検討すれば良いこと。沿岸監視レーダーからの干渉については、干渉除去処理が有効に機能すること等について確認が行われた。

④ 9.7GHz 帯 汎用型気象レーダーの設置計画

ウェザーニュースより資料「気レX 10-5」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、全国カバー率の定義が過去の資料から変更されていること、JR東日本等が設置しているレーダーについての検討が考慮されていないため、今後、それらも含めた件等を行うこと等が確認された。

⑤ X 帯汎用型気象レーダー電波防護基準

ウェザーニュースより資料「気レX 10-6」に基づき説明が行われた。また、その後の質疑等において、タイプa, bの計算例を例示し、免許申請時には実際に設置する機器のスペックに合わせ計算を行うことが現実的では無いか等の議論が行われた。

⑥ 陸上無線通信委員会 気象レーダー作業班 報告書(案)

事務局より資料「気レX 10-7」に基づき、説明が行われた。また、その後の質疑等において、今後の予定について説明が行われた。沿岸監視レーダの干渉を考え、一番遠い周波数で検討を行っているが、異なる周波数の使用を検討する可能性があるとの確認がされた。

⑦ その他

事務局より資料「気レX 10-8」に基づき、今後の予定について説明が行われた。

(5) 閉会